

令和5年度 第1四半期

退職等年金給付組合積立金 運用状況



目次

- ・ 令和5年度 第1四半期運用実績（概要） P 2
- ・ 令和5年度 第1四半期市場環境（その1） P 3
- ・ 令和5年度 第1四半期市場環境（その2） P 4
- ・ 令和5年度 退職等年金給付組合積立金の資産構成割合 P 5
- ・ 令和5年度 退職等年金給付組合積立金の運用利回り P 6
- ・ （参考）前年度 退職等年金給付組合積立金の運用利回り P 7
- ・ 令和5年度 退職等年金給付組合積立金の運用収入の額 P 8
- ・ （参考）前年度 退職等年金給付組合積立金の運用収入の額 P 9
- ・ 令和5年度 退職等年金給付組合積立金の資産の額 P 10
- ・ 資産運用に関する専門用語の解説 P 11

令和5年度 第1四半期運用実績（概要）

運用収益額 + 0.93億円 ※実現収益額
(第1四半期)

運用利回り + 0.10% ※実現収益率
(第1四半期)

運用資産残高 938億円
(第1四半期末) (簿価ベース)

※ 情報公開を徹底する観点から、四半期ごとに運用状況の公表を行うものです。年金積立金は長期的な運用を行うものであり、その運用状況も長期的に判断することが必要です。

(注1) 収益率及び収益額は、当該期間中に精算された運用手数料等を控除したものです。

(注2) 上記数値は速報値のため、年度末の決算等において、変更になる場合があります。

令和5年度 第1四半期市場環境(その1)

【各市場の動き(令和5年4月～令和5年6月)】

- 国内債券：**10年国債利回りは上昇しました。6月中旬の金融政策決定会合で、改めて金融緩和継続の姿勢が示されると、金利は低下(債券価格は上昇)に転じましたが、期初に就任した日銀新総裁に対する政策修正期待の高まりから、金利は期中緩やかながら上昇基調を辿りました。
- 国内株式：**国内株式は上昇しました。3月末の東京証券取引所によるPBR(株価純資産倍率)1倍割れ是正要請や、米著名投資家による日本株への追加投資表明に後押しされた海外投資家の継続的な買いや円安の進行等を背景に、日経平均株価は33年ぶりの高値を更新しました。
- 外国債券：**米国10年国債利回りは上昇しました。5月の雇用統計での非農業部門雇用者数の大幅増加を受けて、FRB(米連邦準備理事会)の追加利上げ観測が広がり金利は上昇しました。続く6月のFOMC(連邦公開市場委員会)では、利上げは見送られましたが、同時に年内2回の追加利上げ見通しが示されると、金融引き締めの長期化観測から金利上昇に弾みがつきました。
ドイツ10年国債利回りは上昇しました。1-3月期のユーロ圏実質GDP成長率がマイナスに落ち込み景気後退局面入りが懸念されるも、ECB(欧州中央銀行)が、5・6月と利上げを行い、なおも積極的な利上げ姿勢を強調していることから金利は上昇しました。
- 外国株式：**米国株式は上昇しました。懸念された米連邦債務上限の適用が停止され、投資家心理が改善された他、良好な米雇用統計や、AI(人工知能)関連での半導体需要への期待からハイテク株を中心に株価は上昇しました。
欧州株式は上昇しました。ユーロ圏のインフレ高止まりに対し、ECBが積極的な利上げ継続姿勢を強調するなか、中国の景気刺激策への期待等から株価は上昇しました。
- 外国為替：**ドル/円は、良好な米雇用情勢や、日銀の金融緩和継続姿勢からドル高傾向が再燃していたところ、6月のFOMCにおいて年内2回の追加利上げが示唆された一方で、日銀が改めて金融緩和継続姿勢を示したことからドルは一段と上昇する展開となりました。
ユーロ/円は、基調的なインフレ率の高止まりを受けたECBの利上げ継続と、更なる利上げ継続方針に対し、対照的な動きとなる日銀の金融緩和継続姿勢から、ユーロ高・円安の傾向を強めました。

○ ベンチマーク収益率

	令和5年3月末～ 令和5年6月末
<国内債券> NOMURA-BPI総合	0.41%
<国内株式> TOPIX(配当込み)	14.45%
<外国債券> FTSE世界国債インデックス (除く日本、中国、ヘッジなし・円ベース)	7.80%
<外国株式> MSCI ACWI (除く日本、円ベース、配当込み)	15.49%

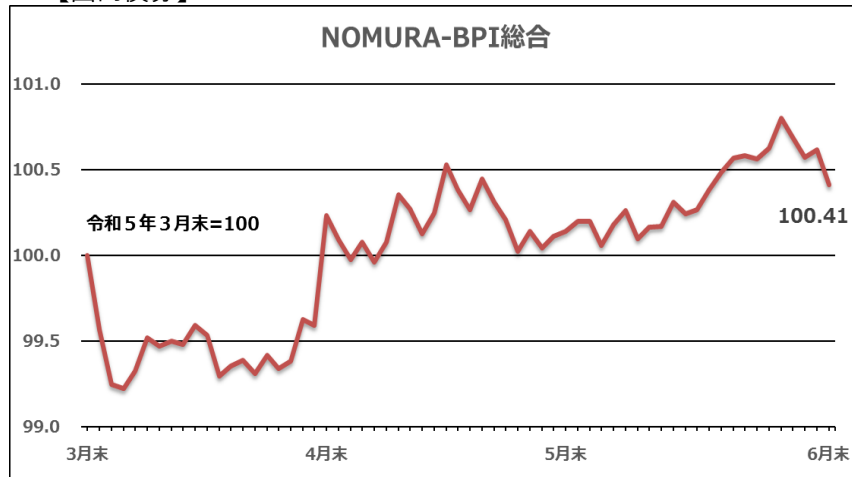
○ 参考指標

		令和5年3月末	令和5年4月末	令和5年5月末	令和5年6月末
国内債券	新発10年国債利回り (%)	0.351	0.394	0.436	0.401
国内株式	TOPIX (ポイント)	2,003.50	2,057.48	2,130.63	2,288.60
	日経平均株価 (円)	28,041.48	28,856.44	30,887.88	33,189.04
外国債券	米国10年国債利回り (%)	3.468	3.422	3.643	3.837
	ドイツ10年国債利回り (%)	2.292	2.313	2.282	2.392
外国株式	NYダウ (ドル)	33,274.15	34,098.16	32,908.27	34,407.60
	ドイツDAX (ポイント)	15,628.84	15,922.38	15,664.02	16,147.90
外国為替	ドル/円 (円)	132.86	136.30	139.34	144.31
	ユーロ/円 (円)	144.09	150.07	148.95	157.44

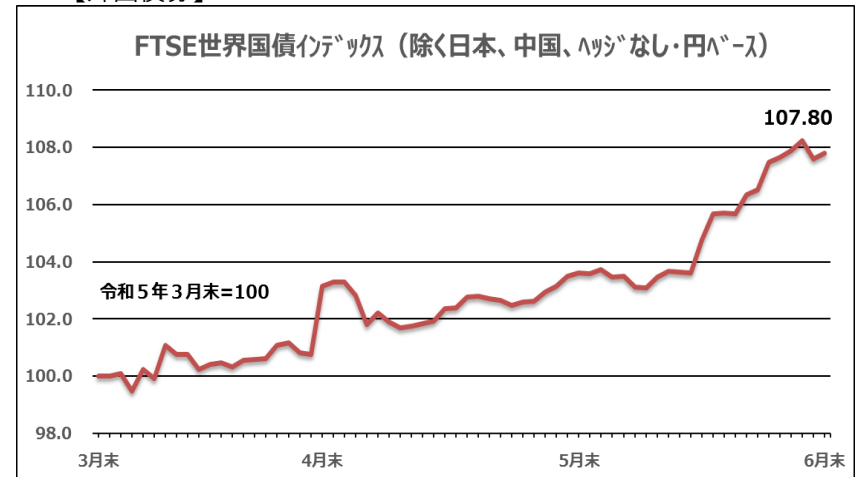
令和5年度 第1四半期市場環境(その2)

ベンチマークインデックスの推移 (令和5年度第1四半期) ※令和5年3月末時点の指数を「100」としてグラフ化しています

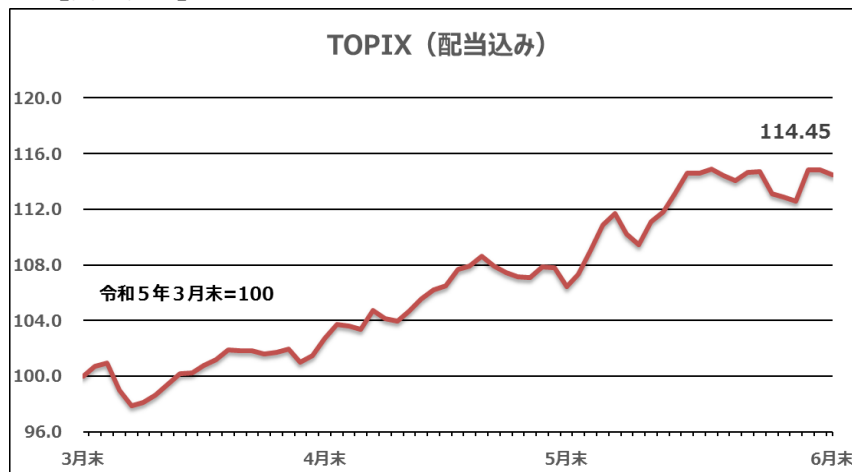
【国内債券】



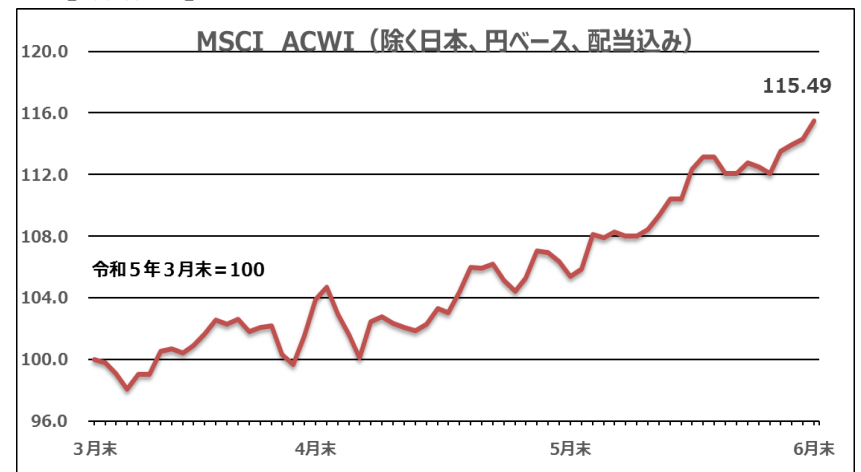
【外国債券】



【国内株式】



【外国株式】



令和5年度 退職等年金給付組合積立金の資産構成割合

(単位：%)

	令和4年度 年度末	令和5年度				基本 ポートフォリオ
		第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	年度末	
国内債券	100.0	100.0	—	—	—	100.0
うち短期資産	(2.0)	(1.9)	—	—	—	
合計	100.0	100.0	—	—	—	100.0

(注1) 基本ポートフォリオは、国内債券100%です。

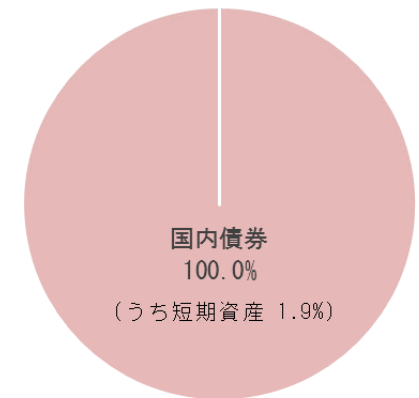
(注2) 資産構成割合は簿価ベースの数値です。

(注3) 記数値は速報値のため、年度末の決算等において、変更になる場合があります。

(注4) 各ファンドで保有する短期資産は、原則として当該ファンドが主に持つ資産の資産区分に計上しております。

(注5) 短期資産は未払金等を考慮しているため、マイナスの数値になることがあります。

第1四半期末 運用資産別の構成割合



令和5年度 退職等年金給付組合積立金の運用利回り

- 令和5年度第1四半期の実現収益率は、0.10%となりました。
 ○退職等年金給付組合積立金で保有する国内債券は、満期持切りを前提とするため、簿価評価としています。

(単位：%)

	令和5年度				
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	年度計
実現収益率	0.10	—	—	—	0.10
国内債券	0.10	—	—	—	0.10
うち短期資産	(0.00)				(0.00)

(参考)

(単位：%)

	令和5年度				
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	年度計
修正総合収益率	0.79	—	—	—	0.79

(注1) 各四半期および「年度計」の収益率は期間率です。

(注2) 収益率は、当該期間中に精算された運用手数料等を控除したものです。

(注3) 修正総合収益率は、実現収益率に時価評価による評価損益の増減を加味したものです。

(注4) 上記数値は速報値のため、年度末の決算等において、変更になる場合があります。

(参考) 前年度 退職等年金給付組合積立金の運用利回り

(単位：%)

	令和4年度				
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	年度計
実現収益率	0.09	0.09	0.09	0.10	0.37
国内債券	0.09	0.09	0.09	0.10	0.37
うち短期資産	(0.00)	(0.00)	(0.00)	(0.00)	(0.00)

(参考)

(単位：%)

	令和4年度				
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	年度計
修正総合収益率	▲1.44	▲0.92	▲2.90	2.60	▲2.51

令和5年度 退職等年金給付組合積立金の運用収入の額

(単位：億円)

	令和5年度				
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	年度計
実現収益額	0.93	—	—	—	0.93
国内債券	0.93	—	—	—	0.93
うち短期資産	(0.00)	—	—	—	(0.00)

(参考)

(単位：億円)

	令和5年度				
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	年度計
総合収益額	7.01	—	—	—	7.01

- (注1) 収益額は、当該期間中に精算された運用手数料等を控除したものです。
(注2) 総合収益額は、実現収益額に仮に時価評価を行った場合の評価損益の増減を加味したものです。
(注3) 上記数値は四捨五入のため、各数値の合算は合計値と必ずしも一致しません。
(注4) 上記数値は速報値のため、年度末の決算等において、変更になる場合があります。

(参考) 前年度 退職等年金給付組合積立金の運用収入の額

(単位：億円)

	令和4年度				
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	年度計
実現収益額	0.69	0.74	0.80	0.87	3.09
国内債券	0.69	0.74	0.80	0.87	3.09
うち短期資産	(0.00)	(0.00)	(0.00)	(0.00)	(0.00)

(参考)

(単位：億円)

	令和4年度				
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	年度計
総合収益額	▲11.34	▲7.44	▲24.20	21.94	▲21.05

令和5年度 退職等年金給付組合積立金の資産の額

(単位：億円)

	令和5年度											
	第1四半期末			第2四半期末			第3四半期末			年度末		
	簿価	時価	評価損益	簿価	時価	評価損益	簿価	時価	評価損益	簿価	時価	評価損益
国内債券	938	912	▲25	—	—	—	—	—	—	—	—	—
うち短期資産	(18)	(18)	(0)	—	—	—	—	—	—	—	—	—
合計	938	912	▲25	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(単位：億円)

	令和4年度											
	第1四半期末			第2四半期末			第3四半期末			年度末		
	簿価	時価	評価損益	簿価	時価	評価損益	簿価	時価	評価損益	簿価	時価	評価損益
国内債券	815	795	▲20	847	819	▲28	885	832	▲53	909	877	▲32
うち短期資産	(21)	(21)	(0)	(12)	(12)	(0)	(28)	(28)	(0)	(18)	(18)	(0)
合計	815	795	▲20	847	819	▲28	885	832	▲53	909	877	▲32

(注1) 上記数値は四捨五入のため、各数値の合算は合計値と必ずしも一致しません。

(注2) 時価及び評価損益は、仮に時価評価を行った場合の参考値です。

(注3) 上記数値(令和5年度)は速報値のため、年度末の決算等において、変更になる場合があります。

(注4) 各ファンドで保有する短期資産は、原則として当該ファンドが主に持つ資産の資産区分に計上しております。

(注5) 短期資産は未払金等を考慮しているため、簿価、時価共にマイナスの数値となることがあります。

資産運用に関する専門用語の解説

- 実現収益額
(計算式)
実現収益額 = 売買損益 + 利息・配当金収入 + 未収収益増減 (当期末未収収益 - 前期末未収収益)
- 実現収益率
(計算式)
実現収益率 = 実現収益額 ÷ 簿価平均残高
- 総合収益額
実現収益額に資産の時価評価による評価損益を加味することにより、時価に基づく収益把握を行ったものです。
(計算式)
総合収益額 = 実現収益額 + 評価損益増減 (当期末評価損益 - 前期末評価損益)
- 修正総合収益率
時価ベースで運用成果を測定する尺度の1つです。総合収益額を、元本平均残高に前期末未収収益と前期末評価損益を加えたもので除した時価ベースの比率です。算出が比較的容易なことから、運用の効率性を表す時価ベースの資産価値の変化を把握する指標として用いられます。
(計算式)
修正総合収益率 = 総合収益額 / (簿価平均残高 + 前期末未収収益 + 前期末評価損益)
- 格付
債権の信用力や元利金の支払能力の安全性などを総合的に分析してランク付けし、アルファベットなど分かりやすい記号で示されたものです。格付機関が付与します。
一般に B B B 格までが投資適格とされ、B B 格以下になると信用リスクが高くなるとされています。